

ふれあい広場 来春3月16日(日)開催します

毎年みなさまに参加・ご協力をいただいております下田市ふれあい広場を3月16日(日)に開催致します。本年も30以上の団体のみなさまにご協力をいただき、地域に住む人と人との出会いの場として福祉を楽しみながら体験していただけるよう、福祉体験コーナーやチャリティーバザー、フリーマーケット等を予定しております。みなさま、是非ご来場ください。



ひよこのお知らせ

おともだちつくる！

子育ての息抜きに遊びに来ませんか

おもちゃ遊び、ボールプール、授乳・お昼寝スペース、保護者のための喫茶コーナーなどを用意してみなさまのお越しをお待ちしています。
(運営: 下田市社会福祉協議会 協力: しもだ子育て応援隊ぽっぽ)

ひよこサロン

- 時間 午前10時から正午
- 入場無料 (未就学児と保護者対象)

ひよこルーム (場所は下記の通りです)

- 時間 午前10時から午後3時
- 遊・VIVA!入場料 大人・小人(2歳以上)一律100円

妊婦の方も歓迎
ぜひ遊びに来て下さい

開催日	内容	会場
12月19日(木)	ひよこサロン クリスマスおはなし会／おはなしの会ピロシキ	道の駅開国下田みなと4F
1月16日(木)	ひよこサロン エプロンシアターと手遊び／たまごの会	道の駅開国下田みなと4F
2月20日(木)	ひよこサロン リトミック／リトミック教室ドレミポケット	道の駅開国下田みなと4F
3月1日(土)	ミニ遊・VIVA!ひよこルーム	白浜小学校体育館
3月20日(木)	ひよこサロン ママ体操／(社)日本3B体操協会	道の駅開国下田みなと4F

ひよこサロン



※体調不良の方の入場は、ご遠慮いただく場合があります。

暮らしの相談開催日程【無料】

相談やサービスを提供する上で得た情報は、本人の同意なく第三者に提供しません。

福祉相談

時間 9:00～17:00
相談員 社協・関係団体
問合せ先 下田市社会福祉協議会:電話 22-3294

月～金曜日(祝日を除)

お待ちいただくことがないよう、必ず事前にご連絡ください。

福祉サービスや利用手続き、日常生活における心配ごと等を関係機関と連携して問題解決のお手伝いをします。

ボランティア相談

時間 9:00～17:00
相談員 社協・関係団体
問合せ先 下田市社会福祉協議会:電話 22-3294

月～金曜日(祝日を除)

ボランティアをしたい人、力を借りたい人、希望にあった活動のご案内をします。

介護相談

時間 9:00～17:00
相談員 社協介護支援スタッフ
問合せ先 下田市社会福祉協議会:電話 22-3294

月～金曜日(祝日を除)

心配ごと相談

相談員 下田市民生委員児童委員

毎月第2・4水曜日

日程	時間	場所
1月8日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
1月22日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
2月12日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室
2月26日(水)	10:00～15:00	下田市役所2階会議室

第21回いきいき下田演芸大会開催

日時 平成26年1月24日(金) 9:30～
場所 下田市民文化会館大ホール

新春恒例の『いきいき下田演芸大会』は、毎年大ホールの客席が満席となり大盛況です。今回も歌や踊り、寸劇など合計70組の出演が予定されていますので、みなさま当日は是非会場へ足をお運びください。



『みんなが誰かのために』寄付者一覧(9月～11月)

下田市社会福祉協議会へ寄付をくださったみなさまです。ありがとうございます。みなさまのお気持ちを大切に活かします。

〈現金〉 秋葉正廣 様 名高榮美子 様
〈物品〉 中村麻子 様(プルタブ) 梅内巖 様(プルタブ)
鈴木梅子 様(プルタブ) 宇佐美久美子 様(プルタブ)
土井邑子 様(古切手)
郵便局局長夫人会南部会 様(タオル・雑巾)
明治安田生命下田営業所 様(古切手) 〈順不同〉

わがまち下田に住み続けたい 社協だより

2013年12月号

- ・ふれあいサロン
- ・生活福祉資金教育支援費のご案内
- ・実習生体験記
- ・ふれあい広場
- ・おともだちつくる！ひよこのお知らせ
- ・暮らしの相談開催日程
- ・第21回いきいき下田演芸大会
- ・『みんなが誰かのために』寄付をくださったみなさま

ふだんの
くらしの
あわせ



今年も10月から「じぶんの町をよくするしくみ」のスローガンのもと、共同募金を実施しています。12月6日(金)に歳末たすけあい街頭募金を行い、市民のみなさまから68,188円のご協力をいただきました。ありがとうございます。

ふれあいサロン

ふれあいサロンは『地域住民の出会いの場』です。介護保険など公的制度はさまざまなサービスを提供していますが、地域が抱える問題にきめ細かく対応するにはまだまだ十分ではありません。ですので、地域のみなさまがつながり、相互に助け合うことが重要になってきているのです。みなさまが仲間とともに楽しく、いきいきと暮らしていけるように仲間を作り、ひいては地域の助け合いが広がっていくきっかけの場にしていきましょう。

ふれあいサロンの楽しみ

● 仲間ができて地域とつながる

サロンに参加すると顔見知りができ、地域とつながりが生まれます。気の合う人と友達となると、外出する楽しみが増えます。

● 心の健康づくり

自分の話を聞いてもらえること、たあいのないおしゃべり、歌やゲームなどで楽しい時間を過ごすと心が明るくなります。

● 体の健康づくり

サロンで行う体操や血圧測定、健康指導などを受けて自分の健康を意識する習慣をつけましょう。歩いてふれあいサロンへ出かけるだけでも運動になり、家の中でじっとしているのとずいぶん違います。



参加者募集

下田市社会福祉協議会は福祉会館でふれあいサロンを開催しています。年齢・性別などの参加資格はありませんので是非ご参加ください。(要申込。22-3294までお問い合わせください。)



クリスマスお楽しみ会

日時 平成25年12月22日(日) 10:00～
参加費 200円 内容 ハンドベル演奏やゲーム

新春!! 大笑いふれあいサロン

日時 平成26年1月26日(日) 10:00～
参加費 200円 内容 笑顔になるレクリエーション

春のふれあいサロン

日時 平成26年3月2日(日) 10:00～
参加費 100円 内容 みんなで軽食を食べましょう



静岡県社会福祉協議会 生活福祉資金教育支援費のご案内 (入学金・授業料などの貸付)

学校教育法に定める学校(高校、高専、短大、大学および専修学校)への進学を希望しているお子さまがいらっしゃるご家庭で、教育資金をご検討されている方を対象に貸付のご案内をいたします。申込みから審査、借入れまでに1ヶ月から1ヶ月半のお時間が必要です。受験する学校が決まりましたら、先ずご相談ください。

■ 貸付金額(限度額)

＜教育支援費＞

- ・ 高等学校……………月額3.5万円以内
- ・ 高等専門学校……………月額6万円以内
- ・ 短期大学……………月額6万円以内
- ・ 大学……………月額6.5万円以内

＜教育支度費＞

- ・ 入学時のみ……………50万円以内

お願い 相談をご希望の際は、必ず事前にお電話でご予約ください。

※お申込みにおいて、以下の点にご留意いただいた上でご相談ください。

- ・ 所得制限があります。(生活保護基準額の1.7倍以下)
- ・ 借受人は学生本人、親権者で生計中心者が連帯借受人となります。
- ・ 借受人とは別世帯の連帯保証人が必要です。
- ・ 借受人・保証人は社協や民生委員との面談が必須です。
- ・ 既に支払いを済ませた入学金・学費・諸経費は貸付対象外です。
- ・ 申込時に決めた返済期限を過ぎると、延滞利子(年利10.75%)が掛かります。
- ・ 生活福祉資金のご利用にあたっては、日本学生支援機構、国民生活金融公庫など他の融資、給付制度の利用が優先となります。他制度が利用できる状況にもかかわらず、これらの制度を利用せずに本資金を利用することはできません。

注) 制度運営および利用審査は静岡県社会福祉協議会が行います。
下田市社会福祉協議会は申込受付窓口です。

ソーシャルワーカーを目指して

相談援助業務に携わる人の国家資格である社会福祉士の受験資格を取得するためには、原則として実習機関・施設にて『実務24日間以上かつ180時間以上』の実習が義務付けられています。社会福祉協議会では社会福祉士を目指す学生を実習生として受入れています。

8月下旬から9月下旬までの約1ヶ月にわたり、下田市社会福祉協議会でソーシャルワークの実習をさせていただきました。

私は下田で生まれ育ちましたが、大学で福祉の勉強を始めるまで、正直なところ社会福祉協議会という機関の存在を知りませんでしたし、勉強をする中でも行政に近いイメージを持っていました。しかし、実際は地域との関わりがとても深く、地域住民のニーズを考え、専門性と地域ネットワークを活かして地域と行政を繋げていくような事業をする機関であることを知り、私が下田で生活していた時にもしっかり関わりがあったのだと驚きました。

実習プログラムは地域福祉活動事業だけでなく、介護保険事業の居宅介護・訪問介護・通所介護まで幅広く経験させていただいたため、社会福祉協議会の業務全般を理解することができました。内容は講義を受けたり会議に同席するだけでなく、現場に参加して住民のみなさんと一緒に活動に取り組んだり、利用者のお宅に同行訪問したりと、大学での講義では学ぶことができない貴重な体験をさせていただきました。住民のみなさんとの交流を通じて聴く生の声には、多くの気づきや学ぶべきことがありました。日常の何気ない会話の中からもニーズや課題が見えてくるのだと実感し、傾聴することの大切さを学ぶことができました。実習中に参加したサロン活動や避難所宿泊体験、民生委員児童委員協議会定例会、大賀茂はたる便健康教室、老人クラブ活動のゲートボールやグランドゴルフ、落語の集いへの参加、デイサービスやケアマネージャー、ホームヘルパーの業務を体験したことは私の中で新鮮



で、学ぶことが多い毎日でした。日々多くの方々とお話しをする機会に恵まれ、社会福祉協議会は住民や関係機関との連携ネットワークがとても強いということを感じることができました。

約1ヶ月の実習で私が一番に感じたことは、地域住民の力の大きさです。近年、地域の関わりあい希薄化していると言われますが、困っている時に家族以外で頼ることができるのは、同じ地域に住む人だと思っています。“いざという時に頼れる人が誰もいない”ということにならないような活動を、社会福祉協議会やボランティア団体のみなさんが積極的に取り組んでいる様子がとても印象に残りました。私自身も日頃から『挨拶する』『地域行事に参加する』といったご近所の関係を大切にしたいと思いました。また、社会福祉協議会の職員のみなさんが、利用者や住民の方と協働する姿を間近で見て、私もこのように相手に寄り添い、安心と信頼を感じてもらえる支援者になりたいと思いました。そのために専門知識をより一層身につけ、今回の実習で気付いた自分自身の反省点を忘れずに将来へ繋げていきたいと感じました。そして将来は生まれ育った下田で地域の福祉活動に積極的に参加し、地域を活気づけていく一人になりたいと思います。

お世話になった社会福祉協議会のみなさん、ボランティア団体のみなさん、地域住民のみなさん、本当にありがとうございました。私も将来下田に貢献できるような福祉の仕事や活動ができるように頑張っていきます。

淑徳短期大学 菊池裕莉愛

